GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 5月号

vol 11

2022.5

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

contents

巻頭特集「ダイバーシティ理解を深めよう！～ガバナーとめぐる“多様性”その11」 … 2
青少年奉仕月間によせて … 4
2022-23年度会長エレクト&地区チーム研修セミナー報告 … 5
グループ8　インターシティ・ミーティング開催報告 … 6
グループ10・11合同　インターシティ・ミーティング開催報告 … 6
グループ別クラブ紹介（グループ 10） … 7
新会員紹介 … 8
会員増減・出席率 … 8

Rotary District 2710

Rotary District 2710

巻頭特集

ダイバーシティ理解を深めよう！
～ガバナーとめぐる“多様性”その11

竹原ロータリークラブの魅力や強みとは？
SDGsと結びつけ、会員として何ができ、どう行動すべきかを追求

2021-2022年度の地区運営のメインテーマは「ダイバーシティ（多様性）理解」です。ロータリアンが多様性、公平さ、開放性を最優先に活動をしていくうえで視野を広めるための新たな試みとして始まった、杉川聡ガバナーと各界の“行動人”の対談。第11回は、竹原ロータリークラブの宇都宮勝博さんにお話を伺いました。

アヲハタ株式会社経営本部総務部にてCSRを担当。2020年6月竹原ロータリークラブ入会。2021-2022年度同クラブS.A.A.を務める。

事業所紹介　**アヲハタ株式会社**

みかんの缶詰加工とジャム類の製造を目的に、1932（昭和７）年に株式会社旗道園として創業。1970（昭和45）年に世界に先駆けて低糖度ジャムを開発、生産量国内ナンバーワンを誇る。ジャムに関する情報発信拠点として2012年（平成24）4月に「アヲハタジャムデッキ」を開設。ジャムづくり体験や工場見学を実施している。
広島県竹原市忠海中町一丁目1番25号
TEL: 0846-26-0111

竹原ロータリークラブと共に歩んできた企業として

杉川　アヲハタと言えば、竹原市に拠点を置く全国に知られる企業ですね。

宇都宮　竹原に工場や拠点を置く主要企業には三井金属鉱業、J-POWER、アトム、金陽社などがあります。アヲハタもその一つですが、当社は1932（昭和７）年に創業以来、本社、工場とも竹原にある地元企業です。

当社がある忠海町は、竹原市の東端に位置します。創業者・廿日出要之進が通った忠海高校の同窓には、日本画家の平山郁夫やニッカウヰスキー創業者の竹鶴政孝などが名を連ねています。竹原市は池田勇人元首相の出身地でもあり、政財界の要人を輩出した土地柄でもあります。

杉川　宇都宮さんのロータリークラブ入会の経緯をお聞かせください。

宇都宮　私が竹原ロータリークラブに入会したのは2020年６月ですが、当社とロータリークラブとの関わりは長く、1964（昭和39）年12月のロータリークラブ立ち上げ時に初代会長を務めたのも当社の会員で、現在までほぼ途切れることなく竹原ロータリークラブの会員企業です。地元企業では、三井金属鉱業も会員企業です。

私は、会社からの推薦で入会したのですが、会社員ということもあり、入会するまでロータリークラブについて何も知らず、何がなんだかさっぱりわからない状態でした。そこで、ロータリー百科事典などをひも解き、ゼロから勉強しました。

ロータリークラブといえば、高齢の方や個人事業主が会員の大半を占める団体という印象があり、入会当初は企業としてどのように関わってよいのかわからず、戸惑いました。

杉川　地方都市のロータリークラブの傾向としても商店主などの会員が多いですからね。

宇都宮　入会してからは、親睦とコミュニケーションを深め、社会に奉仕する団体であることが理解できました。クラブ内に総務系の担当者がいないこともあり、私がその役を買って出て、応援させてもらっています。

竹原ロータリークラブの会員は平均年齢が高く、会員歴の長い方が多いです。会員歴50年で94歳の現役会員をはじめ、年代だけでなく顔ぶれも幅が広く、いろいろな分野の方がいらっしゃいます。会員同士で見知った方が多いこともありアットホームな雰囲気で、古参の会員が若手に丸投げすることもなく、新しい取り組みにも興味を示し意欲的で、皆が共に考え行動する姿勢を持っておられます。

入会から１年の見習い期間を経てクラブの雰囲気もつかめたので、2021年７月からはクラブのSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みを担当させてもらっています。これまで、クラブのあり方や活動を見つめ直し突き詰めて考える必要性を感じながらも、どうすべきかと手をこまねいている感がありました。そこで、竹原ロータリークラブの魅力や強みは何なのかをSDGsと結びつけて提案することで、会員として何ができるのか、どう行動すべきなのかを相互に話し合うきっかけになれば、と考えています。

杉川　ロータリークラブの活動が宇都宮さんご自身のプラスにもなっているのですね。

製造と経営企画の両部門を経験してきた“二刀流”

杉川　宇都宮さんご自身の経歴を教えていただけますか。

宇都宮　私は1959（昭和34）年生まれの63歳で、岩国市の出身です。山口県立岩国高校を卒業後、広島大学の生物生産系の学科へ入学しました。

アヲハタに入社後、品質保証部門に10年在籍したのち商品開発部へ異動しました。製品に異物が入らないように“守り”の役割を担う部門から製品の中身を作る側へ移ったことで、ますますおいしい物が好きになり、自分で料理を作るようになりました。

商品開発の次に携わったのが新規事業部門の開設です。消費者向け製品が大半を占める当社でメーカー向けの業務用製品部門を立ち上げることになり、東京での単身赴任も経験しました。乳業・飲料メーカー向けのヨーグルト用フルーツなどのBtoB製品は、売上高全体の２割を占めるまでに成長しました。

2011年に子会社の芸南食品で工場長を経験したのち、2013年から経営本部の経営企画へ。2016年からは執行役員として「当社のDNAとは」などの企業理念の再整理（つくりかえ）に取り組みました。人事と財務以外の部門は一通り経験しています。

杉川　製造系だけでなく経営企画方面の業務にも携わってこられたのですね。

宇都宮　両方の経験がある、いわば二刀流の人間は社内でも少ないです。定年後の再雇用で嘱託勤務となったこともあり、ロータリークラブの活動に深く関与できるようになりました。65歳までは会社に在籍するので、会社における自分の役割を全うできればと思っています。

女性や障がい者を受け入れ、活躍できる場を提供

杉川　アヲハタは地域に密着したメーカーとして、地元への貢献度も高いですね。

宇都宮　当社が忠海で創業したのは、原料であるみかんなどの柑橘類の産地に近いからです。瀬戸内海の島しょ部全てがみかんの産地ですから。主力製品のマーマレードの原料となるオレンジ類の大部分は国産品を使用しており、地元比率も高いです。契約栽培で、技術指導も当社で行い、良質の原料確保に努めています。

杉川　工場見学もさせてもらいましたが、おびただしい数のジャムが生産されていますね。

宇都宮　１日に15万本を生産しています。通常、家庭でジャムを作ると果実の色は変わりますが、当社では原料の鮮度を保ち、色が変わらない加工技術を確立しています。そのため、加工用の機械は全て当社仕様に共同開発したものばかりなんですよ。

杉川　製品の特性から、女性が活躍する会社でもあるのでは？

宇都宮　工場の従業員は７割が女性です。かつては近隣の主婦の方たちがパート勤務を経て正社員になるという流れでしたが、平成に入ってからは設備の進化でコンピューターを扱うようになり、生産や研究開発部門で広島県内の大卒を採用するようになりました。理系の女子学生に人気です。

従業員は、30分以内に通勤できる竹原市内在住の人が９割を占めます。女性がワーク・ライフ・バランスを取りやすい職場かもしれません。

杉川　比較的早い段階から女性を受け入れてきた企業ということですね。

宇都宮　また、私が芸南食品の工場長をしていた2011年に地元の特別支援学校の生徒を採用しました。

発達障がいがある人の職務特性としてパターン認識や記憶などの能力に優れ、技術的な分野と相性が良いとされる点に着目し、働き手と組織の双方にとって望ましい雇用環境を作り出そうという「ニューロダイバーシティ」という考え方があります。実際、当社で採用した従業員もフルーツの検品作業で集中力を発揮し、成果をあげています。採用を機に特別支援学校とのパイプもでき、障がい者雇用率は2.3％とぎりぎりの水準ではありますが、障がい者雇用促進に取り組んでいます。

杉川　障がいを個性と捉え、自社の業務に彼らの能力をうまく生かすことができれば、生産性は上がります。御社は女性や障がい者に対し、多様性を受け入れた事業展開をしてこられたのですね。雇用の面でも地元貢献度は高いと思います。

宇都宮　地元貢献の一環として、人材育成にも取り組んでいます。その一つが「アヲハタ奨学金基金」です。社会に貢献できる人材を育成することを目的に、2001年に当社の２代目である廿日出多真夫が開設しました。竹原在住者で学力優秀にもかかわらず経済的理由で修学が困難な人を対象にした給付型の奨学金制度で、毎年２名の大学生に月40,000円の奨学金を４年間給付しています。

杉川　アヲハタは竹原市を拠点とする企業として、様々な形で地域に貢献する活動を継続しているのですね。ロータリークラブに話を戻して、竹原ロータリークラブはその点、いかがですか？

宇都宮　クラブとして地域とのシナジーやジョイントはまだないです。

杉川　竹原ロータリークラブとして地域に積極的に働きかけていけば、皆さんの想いがうまく地域と融合していくのではないでしょうか。メンバーは現在16人と聞きましたが、中川康子会長時代は確か40人近いメンバーがいたと記憶しています。新たなメンバーも増えていくといいですね。

宇都宮　こぢんまりと活動できるので、一緒にいろいろなことに挑戦していきましょうと会員の皆さんに提案しています。

杉川　竹原ロータリークラブの社会貢献活動に大いに期待しています。

青少年奉仕月間によせて
―青少年交換委員会からのご報告とご協力のお願い―

国際ロータリー第2710
2021-22年度　地区青少年交換委員会（広島西RC）　田中　健志

青少年交換プログラムの概略・歴史・委員会活動をお知らせし、地区内各ロータリークラブに対して当委員会事業へのご協力依頼の紙面とさせていただきます。

⑴　青少年交換の歴史

1　海外及び日本

1929年　フランスのニースロータリークラブが最初の交換留学を行う
1939年　アメリカ合衆国と南米間で開始
1972年　国際ロータリー理事会で「世界的な平和と理解を推進する価値ある国際的活動」として正式に推奨された
1974年　日本で青少年交換プログラム開始
現　在　世界で100か国以上の国のロータリークラブが実施し、毎年9000人以上がこのプログラムを利用して留学している

2　2710地区での実施

1974年度から開始以降の47年間では15か国と交換事業を行い、海外から214人を受け入れ226人を派遣しています。

⑵　地区青少年交換プログラム実施に向けての支援組織の変遷

1　1971年６月　ロータリー青少年交換連絡事務所設置

青少年交換プログラムは基本的にクラブ対クラブのプログラムですが、現実的には地区対地区とのプログラムとして世界的に展開されています。また、国を超えるプログラムであるため、日本の34地区が共通に抱える課題も多く、地区独自で対応できない問題が多く存在します。そのため、外務省・法務省やRIとの対応のため、各地区青少年交換委員会のとりまとめ役として設置されました。

2　2000年７月　ガバナー会青少年交換委員会　JYEC（Japan Youth Exchange Committee）設置

各地区が抱えている問題点の改善およびプログラムの更なる発展を期すことを目的とし、ガバナー会の中の小委員会として設置されました。

3　2010-11年度　国際ロータリー日本青少年交換委員会　RIJYEC（Rotary International Japan Youth Exchange Committee）設立

RI理事会は青少年交換プログラムにおける虐待およびハラスメント防止のため、各地区に危機管理への対応を義務づけ、適切に危機管理への対応が取られている地区にのみ2006-07年度以降の青少年交換プログラムへの参加を許可しました。また同時に米国務省は、交流団体などが性的虐待の報告を怠るような事例が起きた場合、その若者が参加していた交換留学プログラムを停止すると警告、ガバナー会青少年交換委員会はこれに対応し、34地区合同で国際ロータリー日本青少年交換委員会（RIJYEC）を設立し、この委員会を法人化しました。その結果、2008年２月１日から青少年交換プログラムへの参加が認定されました。

4　2018年４月　一般社団法人国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構RIJYEM（RI Japan Youth Exchange Multidistrict organization）設立

2017年１月、RIから「ロータリー青少年保護の手引き」が出されました。これはロータリアンに青少年の安全を考え、彼らを守るために最善を尽くす責任を課した「青少年と接する際の行動規範に関する声明」の具体的な指針となるもので、RIの常設プログラムに指定されている青少年プログラム全てが包括されています。この「手引き」を契機に、青少年交換プログラムをRIの「多地区合同青少年交換プログラム（Multidistrict Youth Exchange Program）」として進め、加えて多地区合同組織体として法人化することでRIの理事会決定に準拠することができました。

⑶　2710地区青少年交換プログラムの現況

1　コロナウイルスから青少年を守るため、RIからの指示により2022年6月末までプログラムは中止となり、現在派遣留学生（オウトバウンド）も受入留学生（インバウンド）もいません。

2　2022-23年度　青少年交換プログラムの実施について準備しています。（詳細広報は５月末予定）

3　青少年交換運営マニュアルの改定作業

現在、青少年交換プログラムには以下の10種類のマニュアルが運用されています。RIは青少年の安全を守るため、全てのマニュアルの改定を終えた地区にのみ青少年交換プログラムを許可しています。そのため、次年度からの再開に備え、マニュアルの総点検及び改定を行っています。

①青少年交換委員会マニュアル　②危機管理マニュアル
③緊急対策マニュアル　④カウンセラーマニュアル
⑤派遣学生用マニュアル　⑥ホストクラブマニュアル
⑦受入校マニュアル　⑧ホストファミリーマニュアル
⑨来日学生マニュアル　⑩ロータリー交換留学生規則

4　委員会から地区内ロータリークラブへのお願い

基本的に青少年交換プログラムは地区の事業ではなく、各ロータリークラブのプログラムです。各ロータリークラブが主体となり、地区委員はクラブをコーディネートします。次年度から地区委員の任期は３年から５年になりました。その理由は、委員の業務量が多く、経験者が必要であるとの判断からです。しかし委員が３人から５人に増えたとはいえ作業量は多いことには変わりません。地区内ロータリアンのご協力をよろしくお願いいたします。

2022-23年度会長エレクト＆地区チーム研修セミナー報告

国際ロータリー第2710地区
2021-22年度　ガバナーエレクト　石川　良興

環境汚染によりCO_2濃度が上昇し、この１年は極地的な豪雨、夏の猛暑、冬の大雪に見舞われました。山口県は２月20日をもってコロナまん延防止等重点措置が解除になりそうでしたが、広島県は未だ解除の見通しが立たない現状を鑑み、当研修セミナーは２月中旬に計画変更を決定しました。

３月になり春一番が吹き、気象変動が著しい中、国際ロータリー第2710地区会長エレクト＆地区チーム研修セミナーが３月13日にバーチャルで開催されました。セミナーは、パストガバナーをはじめ、ガバナー補佐12名、会長エレクト72名、地区委員会の責任者など総員171名が参加されました。バーチャルになると、欠席者は勿論、入室と退室の時間が記録され、個人情報が詳細に分かるのには驚きました。

10時開始、15時終了とバーチャルでは異例の長い内容としました。通常のガバナー点鐘、国歌斉唱、来賓紹介などの開会式と懇親会を中止しましたが、それ以外の内容は過去を踏襲して、コロナ禍の中DXを加速させたと自負しております。またレベルの高いセミナーができたのは、カウンセラーをお引き受けいただいたPG初め地区事務局員、役員の方々の新しいIMAGINEとITへの挑戦の賜物です。社会ではコロナ禍によりIT化が加速度的に進んでいます。ロータリアンも時代に遅れないように、例会などを休会とせずに活動を続けてください。

午前10時、ガバナー杉川聡様の挨拶で始まりました。また次年度地区研修リーダー吉原久司様からセミナーに当たって、研修目的についてご挨拶をいただきました。

次に私より「次年度RIテーマと地区運営方針」について50分間説明いたしました。Jennifer JonesRI会長の方針「IMAGINE ROTARY ！」を述べ、「次年度は全員で、世界にもたらされる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力と繋がりを生かして行動する世界を実現してほしい。ロータリーには「適応と改革」が必要。最近提唱された中核的価値観とビジョン声明を実施するために、2019年に決められた国際ロータリーの活動の指針であるDEI（Diversity、Equity、Inclusion）の立場に立って、クラブで、委員会でそれぞれに合った意識改革を実行するため、状況を分析し、問題点を改善し、さらにクラブを活性化して欲しい」と述べました。

ガバナー信条については、人生100年時代に向け、健康寿命を延ばすことが何よりも重要な課題となっています。ロータリーは衰弱の危機に瀕しており、健康寿命を延伸することにより、５大奉仕と７つの重点分野を遂行するために必要な財団支援を行い、社会に貢献し、会員自身の成長と会員相互の親睦を育み、ロータリーの公共イメージを高め、ひいては会員の増強につなげていきましょう。

基調講演は次年度がん予防推進委員会カウンセラー田原榮一様から『人生100年時代に向けて健康寿命を伸ばそう～がん予防とロータリーの未来』と題してお話しいただきました。エドワード・グレイの提案に始まり、松本卓臣PGについて、人生100年時代とは、健康寿命とは、がんの原因と対策、がんの完治と健康寿命、がん予防新12か条プラス、人生100年時代の健康維持、地区がん予防推進委員会がAGと連携してがん予防新12か条プラスの推進を今後５年間継続するよう希望されました。ポールハリス語録、クラブ基盤の充実、IMAGINE ROTARYなど幅広く格調高い講演をいただきました。

休憩後のテーマ別研修は、次年度ガバナーが特に力を入れている４つの項目について行いました。また本日の５つの演題は、IMにてワークショップとして取り上げます。

① 会員増強委員会カウンセラー西村栄時様は、会員減少傾向に危機を述べられ、会員は財産であり、クラブの活性化と奉仕が必要であると、会員増強の目指す理想を述べられました。

② 奉仕プロジェクト委員会カウンセラー畫田眞三様は、ロータリーの神髄は奉仕にあり、５大奉仕と７つの重点分野に向かって、港から船を出航させましょう、会員と共に奉仕をしよう！と語られました。

③ 公共イメージ委員会カウンセラー前田茂様は、公共イメージ向上について考えよう、Inspirationとは、世間ではロータリーをどのように認識しているか、奉仕活動などをマスコミに報じてロータリーのイメージを変え、認知度を高めて、会員の増加に繋げようとまとめられました。

④ ロータリー財団委員会カウンセラー藤中秀幸様は、ロータリー財団について、日本人の寄付の文化について、奉仕活動を活発にして、そのためには財団を応援して下さいと熱く語られました。

続いて、地区委員会の重要性について地区研修リーダー吉原久司様から、地区委員会の役割と重要性、地区の存在目的、リソースなどについてご教授いただきました。

福谷次年度代表幹事からは、地区組織、地区主要日程、公式訪問について、三浦次年度会計長から会計予算について、竹村地区大会実行委員長から次年度の地区大会についてそれぞれ説明があり、予定どおり15時に滞りなく終了しました。合同懇親会がコロナ禍で実施できなかったのが心残りでした。いつかはRIや他の企業のようにZoomでの懇親会をIMAGINEしています。

昨日のことをIMAGINE（想像）する人はいません。
それは未来を描くことです

グループ8　インターシティ・ミーティング開催報告

国際ロータリー第2710地区
2021-22年度グループ8　ガバナー補佐　**水口　太郎**

３月19日（土）グループ８インターシティ・ミーティング（IM）が開催されました。

コロナ禍の拡大により過去２年連続で中止となり、今回も開催が危ぶまれましたが、３年連続での開催断念は何としても回避すべく、関係各位のご協力もあって、リモートという形ではありましたが何とか開催に漕ぎ着けることができました。

通常IMの目的は、グループ内の会員相互がテーマに沿った学習を進め、親睦を深めることにあります。今回、コロナ禍により止むを得ずシンプルに講演会のみとし、もう一つの目的である会員相互の親睦については、残念ながら断念せざるをえませんでした。

IMテーマは、杉川ガバナーのガバナー信条と地区重点項目であるダイバーシティ理解の促進「多様性を受け入れ、相互理解を深めよう‼」に呼応し、障害者雇用・就労支援に取り組むこととし、「障害者の雇用について」としました。そして、障害者雇用・就労支援に実績があるビーアシスト株式会社の人財開発部長　深水 清志　様を講師として安芸地域障害就業・生活支援センターを紹介いただき、これから障害者雇用・就労支援に取り組む企業、団体向けの講演会を開催することとしました。

講演会の詳細につきましては後日発行される報告書を参照していただきたいと思いますが、先ずは雇用に関するアクションを起こすこと、地域における障害者雇用に関する情報を有する機関の協力を得ること、専任のキーパーソンを決める必要があるが全てを背負い込まぬよう周囲のフォローが必要であること、職場実習を受け入れこれを長い面接と考えることが望ましい等、多くの知見を得ることができました。

今回のIMは江田島ロータリークラブの主催でしたが、参加者が100名近くになる大規模な集会、講演会をリモートで開催した経験はもちろんありません。そのためリモート開催の経験とノウハウを持つ呉南ロータリークラブの皆様のご協力を得て、何とか大きなトラブルも無く、無事講演会を終えることができました。

今回のIMにご参加いただきました皆様とご協力いただきました方々に、この場を借りて深く御礼申し上げます。

グループ10・11合同　インターシティ・ミーティング開催報告

国際ロータリー第2710地区　2021-22年度
グループ10ガバナー補佐（福山RC）
木村　雅昭

国際ロータリー第2710地区　2021-22年度
グループ11ガバナー補佐（福山西RC）
塩川　裕樹

G10・G11合同インターシティミーティング（IM）を、３月26日（土）福山ニューキャッスルホテルにて福山市長枝廣直幹様、ガバナー 杉川聡様並びに多くの来賓の方々にご臨席賜り開催いたしました。

杉川ガバナーは、今年度の信条を「みんなためになるかどうか。未来のためになるかどうか。」～多様性を受け入れ、相互理解を深めよう！！～　と掲げられています。

近年、私達は更なる成長に向け公共イメージの向上に取り組んでおります。ロータリー活動・奉仕活動が一般の皆さんにどれだけ認知され、またロータリーのイメージをどう思われているのか？様々な媒体で広報という形で紹介されています。しかしながら、あまり公に触れ回るのも品がない、「黒子に徹せよ」が信条と言われた時代もありました。しかしロータリーのイメージと認知度upという課題の中で、そろそろこの考え方も変えても良いと思います。

今年度のIMのメインテーマ【脱　黒子（kuroko）】、サブテーマを【ロータリー　そのイメージと認知度 UPへ】は、そんな思いで決めました。

本会議　第１部講演は「自分発信、地域発信、ロータリー発信」と題し、常に自分発信をされている（株）中国放送アナウンサー　横山雄二様をお迎えしました。

第２部は対談形式で、「映画がもたらす　地域活性化」と題し横山雄二様の映画作りに欠かせない俳優　加藤雅也様を交え「映画作り　人つくり　街つくり」のお話を伺い、改めてロータリー活動のイメージUP、認知度UP、そして広報の大切さを再認識しました。

懇親会は福山市出身の金児憲史様の歌とトークを楽しみ、【音楽文化によるまちづくり】をめざしておられる福山シンフォニーオーケストラ様の弦楽四重奏を鑑賞しました。

コロナ禍により新会員紹介（合計73名）がここ２年行えていませんでしたので、各クラブから１名の代表に、自己紹介と入会後の感想を発表してもらいました。最後に杉川ガバナーより激励のお言葉をいただき、新会員の方々にとって貴重な経験になったと思います。

今回のIM実行委員会では、本会議・懇親会のリアル開催に最後までこだわり企画いたしました。福山ニューキャッスルホテル様には会場の感染対策に万全を期していただき、地域経済活動を回すという思いで、持ち帰り弁当という形ではありますが、懇親会も開催致しました。飲食より懇親ありきの考えをメンバーの皆さんにも理解していただき、笑顔溢れるIMとなりました。

グループ別
クラブ紹介
グループ10

挨拶並びにグループ事業紹介

国際ロータリー第2710地区
2021-22年度ガバナー補佐（福山RC）
木村　雅昭

2020年10月に緊張の中でリアル開催された第１回ガバナー会議から、早１年半が経過致しました。第２波コロナ感染が終息し､「GO TO トラベル」が実施されたタイミングでしたので、懇親会ではアルコールも頂きました。

しかし、７月の年度スタートより第５波コロナ感染となり、ガバナー公式訪問を何とか実施することに努めました。

リアルでの開催は福山クラブと福山丸之内クラブのみとなりましたが、各クラブの会長・幹事の皆様のご尽力により、WEB開催とは言え非常に内容の濃い会議となりました。

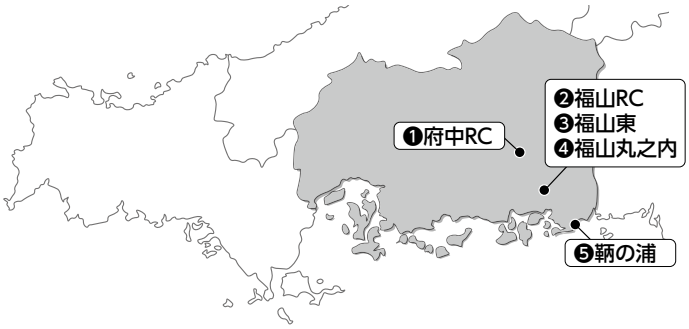
また、グループ10・11合同ゴルフ大会も、幹事クラブの鞆の浦クラブさんの尽力によりG10・11エリアの名門松永カントリークラブでリアルに開催することができました。

そして、そのチャリティーをG10・11エリアの宝物である日本遺産・鞆を支援する「鞆・一口町方衆」応援プロジェクトに寄附させて頂き、マスコミにも取り上げて頂きました。

そして、仕上げとも言うべきIMはG10・11合同で、ロータリーの公共イメージ向上に向けた広報の在り方をテーマに開催します。

まん延防止等重点措置が解除されたとは言えリアル開催にはハードルがありましたが、コロナ禍での大規模イベント開催への挑戦も私達ロータリアンの使命だと考え、藤本（G10）・宇田（G11）両実行委員長をはじめとしたスタッフの皆さんの知恵と汗を結集し、本会議、そしてノンアルコールですが懇親会もリアルに開催致しました。

ロータリー年度も最終コーナーとなりましたが、各クラブともロータリーデー、クラブ一斉オープン例会の開催等、ゴールに向け全力でロータリー活動を推進しております。



■ グループ 10　クラブ紹介表

	クラブ	会長 幹事	会長スローガン 主な活動実績（含計画）
❶	府中	田坂健爾 日野　元	「友愛と奉仕」～和やかに楽しく～ ・ロータリー旗争奪少年野球大会 ・一足早いクリスマスコンサートの実施
❷	福山	小川恭史 河田将人	ENJOY!! SERVICE and FELLOWSHIP ・地区補助金事業＝ＮＰＯ法人福山手をつなぐ育成会（テレビ会議用パソコン等寄贈） ・G10・11合同IMホストクラブ（３月26日開催） ・ロータリー奉仕デー＝Eクラブ・アクトクラブ等と芦田川清掃活動
❸	福山東	三谷浩二郎 小西直人	We are the ones who make a brighter day. So let's start serving. （訳）僕らが輝く未来を作るんだ。だから、奉仕することを始めよう。 ・ロータリー奉仕デー（松永RCと共同開催）＝チャリティーバザー&コンサート（12月） （チャリティー・バザー売上金 50万円を「ロータリー希望の風奨学会」に寄附） ・日本語スピーチコンテスト（1月オンライン開催） ・堂々川清掃と保全活動（5月予定） ・台湾新竹西RC（姉妹クラブ）とのオンライン合同夜間例会（6月予定）
❹	福山 丸之内	笹井康史 猪原　清	「朋に生き、友に学ぶ」 私たち自身がロータリーの中核的価値観『親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ』の原点に立ち返り､『共に互いを高めあう』 ・弓道錬成大会＝分散開催されメダル授与等の支援実施 ・地区補助金事業＝更生保護法人ウィズ広島（生活衛生家電の緊急贈呈支援実施） ・ロータリー奉仕デー＝ウィズ広島・広島西南RCと清掃事業実施 ・創立25周年記念式典（クラブ内で懇親行事として）
❺	鞆の浦	松江長親 外野浩志	ロータリーで集まろう、話そう ・ロータリー奉仕デー＝福山西RCと企業及び就労継続支援Ａ型事業所参観日 ・G10・11合同ゴルフコンペ（チャリティー 35万 鞆・一口町方衆応援プロジェクトへ寄附）
❻	福山ロータリー Eクラブ2710	田中利道 門井　一	親睦と奉仕を楽しむ ・ロータリー奉仕デー＝福山RC等と芦田川清掃活動 ・リングプル回収活動

新会員紹介

山本　昌信
下関北
2022年3月1日
損害、生命保険代理業

中野　高弘
周南西
2022年3月22日
土木建築業

福本　太一郎
周南西
2022年3月22日
地方銀行

山岡　達
徳山
2022年3月31日
新聞発行

今西　桃太郎
岩国
2022年3月3日
石油工業【石油販売】

岩﨑　秀史
岩国
2022年3月24日
新聞【地方】

西海　敏子
柳井西
2022年3月10日
事業協同組合

大浪　みぎわ
柳井西
2022年3月10日
建設業

沼田　純子
柳井西
2022年3月10日
船舶用品販売

安藤　正裕
広島北
2022年3月17日
介護サービス

林　大一郎
広島東南
2022年3月7日
金属銘板製造

松村　知憲
西条
2022年3月17日
電気事業

峯岡　静彦
尾道東
2022年3月1日
建設コンサルタント

佐藤　圭介
福山
2022年3月14日
旅行業

福原　聡
福山
2022年3月14日
一般送配電事業

NGUYEN TRI HAI グエン チイ ハイ
福山丸之内
2022年3月1日
貿易コンサルタント

坂本　有康
福山北
2022年4月1日
都市ガス供給

服部　博文
福山北
2022年4月1日
電気工事

宮武　直樹
三次中央
2022年4月4日
仏教

謹んで追悼の意を表します

2022年3月15日
ご逝去（享年88歳）

ロータリー歴　幹事　1996年-97年
会長　2000年-01年
ベネファクター
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（1回）
第2回　米山功労者マルチプル

職業分類　建築業

福山北 RC　故　**栗原　賢治**　殿

2022年3月25日
ご逝去（享年91歳）

ロータリー歴　1972-73年度　徳山 RC 幹事
1980年　周南西 RC 創立のため移籍
1984-85年度　会長
マルチプルポール・ハリス・フェロー
第3回米山功労者
ベネファクター

職業分類　神道

周南西 RC　故　**黒神　公直**　殿

4月号クイズの答え

①3　②3　③1

多数のご応募ありがとうございました。
今月号のロータリー知識クイズはお休みします。次号をお楽しみに。

国際ロータリー第2710地区 2021-22年度会員増減・出席率（2022年3月度）

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
1	長門	74.73	17	17	3	0	0
	下関	72.28	45	46	1	2	1
	下関中央	71.46	37	39	7	2	0
	下関東	63.95	66	62	3	1	5
	下関北	91.21	43	48	3	8	3
	下関西	66.23	31	31	0	0	0
	計	**73.31**	**239**	**243**	**17**	**13**	**9**
2	萩	98.92	50	50	1	1	1
	萩東	77.05	25	23	0	0	2
	美祢	64.14	21	22	1	1	0
	小野田	81.67	36	35	2	1	2
	宇部	85.46	45	44	2	1	2
	宇部東	69.91	9	9	1	0	0
	宇部西	77.99	46	47	3	1	0
	計	**79.31**	**232**	**230**	**10**	**5**	**7**
3	防府	89.54	55	54	1	4	5
	防府北	84.72	21	22	3	2	1
	防府南	75.51	41	42	7	2	1
	山口	90.54	41	42	4	5	4
	山口県央	73.63	24	23	1	1	2
	山口南	95.83	43	41	5	0	2
	計	**84.96**	**225**	**224**	**21**	**14**	**15**
4	光	77.87	40	42	0	4	2
	周南西	69.18	56	56	6	6	6
	徳山	77.78	39	37	1	7	9
	徳山セントラル	67.73	24	23	1	0	1
	徳山東	77.78	43	43	0	3	3
	計	**74.07**	**202**	**201**	**8**	**20**	**21**

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
5	岩国	64.31	62	64	0	5	3
	岩国中央	69.09	38	38	4	0	0
	岩国西	79.10	62	62	5	0	0
	柳井	66.67	24	25	1	4	3
	柳井西	76.20	22	24	7	5	3
	計	**71.07**	**208**	**213**	**17**	**14**	**9**
6	広島	88.89	113	116	2	14	11
	広島安芸	100.00	42	42	3	0	0
	広島安佐	77.53	20	19	1	1	2
	広島東	100.00	110	114	8	12	8
	広島北	100.00	101	103	0	3	1
	広島陵北	77.78	53	54	2	3	2
	大竹	57.03	28	26	0	3	5
	計	**85.89**	**467**	**474**	**16**	**36**	**29**
7	広島中央	100.00	70	69	5	1	2
	広島廿日市	63.53	18	17	1	0	1
	広島城南	100.00	40	40	2	1	1
	広島南	100.00	87	87	0	7	7
	広島東南	77.78	88	91	11	8	5
	広島西南	98.69	71	69	3	1	3
	広島西	100.00	87	86	4	2	3
	計	**91.43**	**461**	**459**	**26**	**20**	**22**
8	江田島	79.03	18	16	0	0	2
	東広島	70.47	25	23	2	1	3
	東広島21	63.75	19	18	4	0	1
	呉	69.76	66	67	1	6	5
	呉東	70.85	33	32	1	0	1
	呉南	86.21	55	56	1	1	0
	西条	87.53	36	35	2	2	3
	計	**75.37**	**252**	**247**	**11**	**10**	**15**

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月		本年度	
				末日	内女性	入会	退会
9	広島空港	51.78	28	27	2	0	1
	因島	64.75	15	15	1	0	0
	三原	51.70	53	54	0	1	0
	尾道	46.35	83	77	2	1	7
	尾道東	77.50	50	49	7	2	3
	竹原	51.54	16	14	3	0	2
	計	**57.27**	**245**	**236**	**15**	**4**	**13**
10	府中	76.99	20	20	2	0	0
	福山	96.37	80	77	0	6	9
	福山東	79.43	45	45	3	0	0
	福山丸之内	83.72	29	31	1	2	0
	鞆の浦	83.44	20	19	0	0	1
	福山REC2710※	83.71	12	9	2	0	3
	計	**83.94**	**206**	**201**	**8**	**8**	**13**
11	福山赤坂	82.82	50	50	4	2	2
	福山北	88.39	36	33	2	0	3
	福山南	84.70	56	51	1	1	6
	福山西	93.82	34	34	2	1	1
	松永	89.56	50	48	3	0	2
	計	**87.86**	**226**	**216**	**12**	**4**	**14**
12	吉舎	64.31	14	13	0	0	1
	三次	58.77	37	38	2	3	2
	三次中央	57.02	33	35	6	4	2
	庄原	66.57	31	27	4	0	4
	東城	34.72	18	16	1	0	2
	計	**56.28**	**133**	**129**	**13**	**7**	**11**
	第2710地区計	**76.70**	**3096**	**3073**	**174**	**155**	**178**

※正式名称「福山ロータリー Eクラブ2710」
※システムの都合上、平均出席率は暫定的な数字となっております。

国際ロータリー
第2710地区 事務局
〒732-0822　広島市南区松原町1-5　ホテルグランヴィア広島6F
TEL：(082) 506-0055　FAX：(082) 263-2323　E-mail：info@ri2710.com　URL：http://ri2710.com/